

世界の構造転換と日本の進路

日本総合研究所理事長、多摩大学学長
寺島 実郎

- * マッカーサー、ペリーとの不思議な縁
- * 日本の弱さが凝縮された団塊世代
- * アジア・ダイナミズムを復興に生かす
- * 生活を支える産業基盤から考える
- * 原子力で重要な日本の立ち位置
- * 原子力産業の中核になった日本企業
- * 軍事・民生が表裏一体の原子力
- * 見えた再生可能エネルギーの弱点
- * 内外にシェールガス・インパクト
- * 米国に油田発見以来の高揚感



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

寺島実郎さんのご紹介はもう必要ないと思いますが、去年の大震災直後の4月1日の経済倶楽部講演は非常にタイムリーでした。いつもスケールの大きなお話を伺えるので今日も楽しみにしておりますが、このところメディアその他で発言をされる機会、量、質もたいへんなものでして、今日はその総集編を期待されている方も多いと思います。期待を裏切らぬ良いお話が伺えると思います。それではよろしくお願います。（拍手）

寺島 寺島でございます。定点観測のように1年に一度参上しております。私はいつも心の中で石橋湛山に問いかけながら、自分はどういう視点で議論すべきかを考えています。石橋湛

山は関東大震災の後、それに立ち向かいながら、「科学的、合理的な視点でこの事態に向き合わなければならない」と述べています。私自身、それを常に心に置きながら発言しているつもりです。

冒頭、余談から入って恐縮ですが、今日もデータ資料集を配っていただいております、その裏表紙に私の九段にある「寺島文庫」の案内が書かれています。私の世田谷にあった書庫をできる限り後進や若い世代に活用させ、勉強会、研究会の地盤にしたいと思つて、靖国神社の下、グランドパレスホテルの前にこの文庫ビルを構えて、活動のベースキャンプにしています。

インターネットの時代ですので、ここに書いてあるウェブサイトをご覧になると、国会議員